

さらにはフリーカルチャーが内包する価値観について考察します。この歴史の参照を通して、法、技術、文化を含めた私たちの社会がいかに改変可能であるか、またどのように改変していけるかというヒントを、少しでも浮き彫りにできればと思います。

一般に文化や芸術といわれる領域に強い関心を持っている人々だけが、フリーカルチャーと関係があるというわけではありません。インターネットの浸透によって、文字通り誰でもどこでも創造的に情報を発信することが可能になった今日において、フリーカルチャーはあらゆる人間の利害に関係している問題だといえます。同時に多様な領域に固有の文脈や事情も存在するので、フリーカルチャーの全体像に固定的な定義を与えることも困難だといえます。しかし、フリーカルチャーはただ現状を認識するための概念ではなく、ある「文化の理想的な状態」を想定しているものなので、多様な領域が共通の目的を持って連携して活動を行なうた